

■平成27年度 夏休み前の安全利用点検について

河川利用者が特に多くなる夏休みに先がけ、岡山三川(旭川・吉井川・高梁川)の高水敷広場の水辺付近を安全確認するため「安全利用点検」を実施しました。点検で見つかった、要対策箇所(12箇所)は7月末日までに補修します。

点検実施日:

旭川水系 平成27年7月6日
 吉井川水系 平成27年7月7日
 高梁川水系 平成27年7月8日

点検は、事務所職員、地方自治体、所轄警察署と協働で行い、延べ104人で実施。

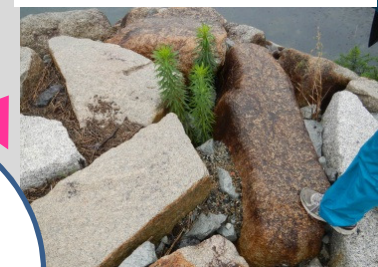
点検の結果は下表のとおりで、緊急性はないものの7月中に対応します。

また、施設利用の頻度が高い親水施設(4箇所)において、水際からの「水深測定」を実施しています。(結果は別添を参照)

注意喚起看板の劣化



間詰石のぐらつき



要対策箇所の事例

親水護岸の陥没



雨水による河岸浸食



「安全利用点検」の結果

	参加者	要対策箇所	内容
旭川水系	44	2	親水護岸の陥没
吉井川水系	34	7	注意喚起看板の劣化 間詰石のぐらつき
高梁川水系	26	3	雨水による河岸浸食
	104人	12箇所	

高梁川 きよね水辺の楽校



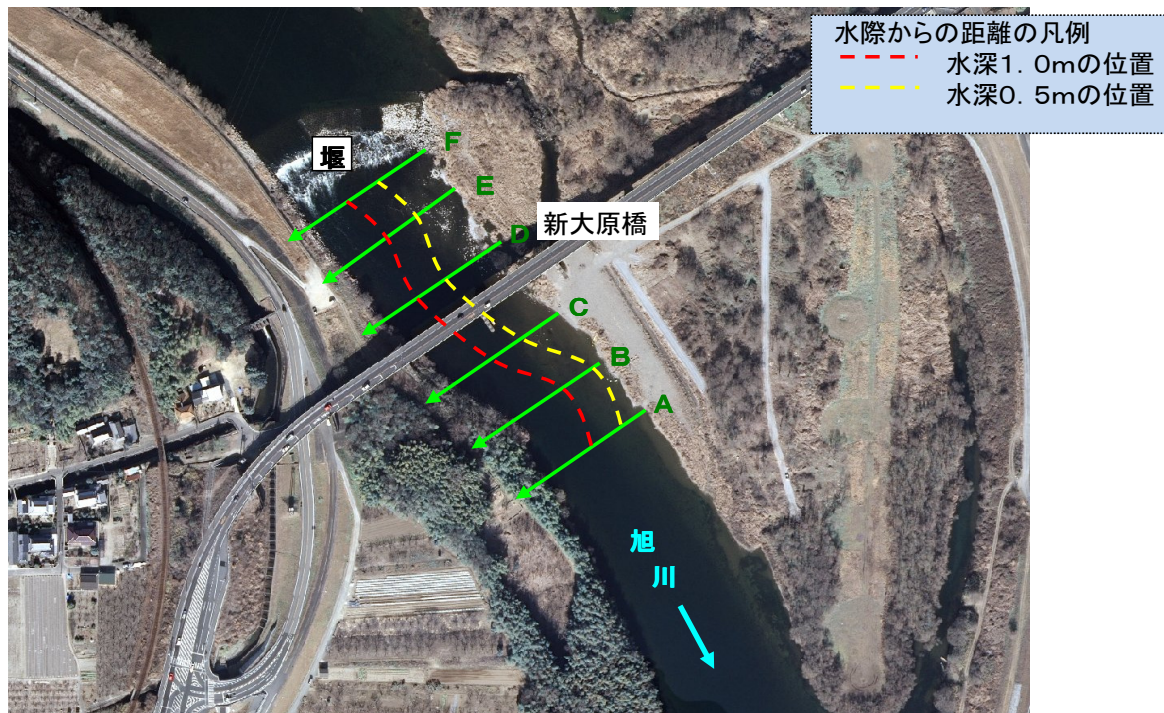
高梁川 総社水辺の楽校



吉井川 熊山水辺の楽校



【旭川・水深等測定記録(新大原橋付近水辺広場)】



点検結果表 (平成27年7月6日)

区分	水際からの距離 (m)		流れの速さ (速い・ゆるやか・ほとんどない)		川底の状態 (なだらか・中間・急に深くなる)	
	水深0.5m	水深1.0m	水深0.5m	水深1.0m		
A	4.7	12.6	ゆるやか	ゆるやか	なだらか	(川底に小石が多数あり)
B	2.3	9.3	ゆるやか	ゆるやか	なだらか	(川底に小石が多数あり)
C	8.0	13.2	少し急	少し急	なだらか	(川底に小石が多数あり)
D	15.2	22.5	急	急	なだらか	(川底に大小さまざまな石)
E	8.4	18.9	急	急	なだらか	(川底に大小さまざまな石)
F	11.6	23.4	急	急	なだらか	(川底に大小さまざまな石)

水辺利用にあたっての注意事項

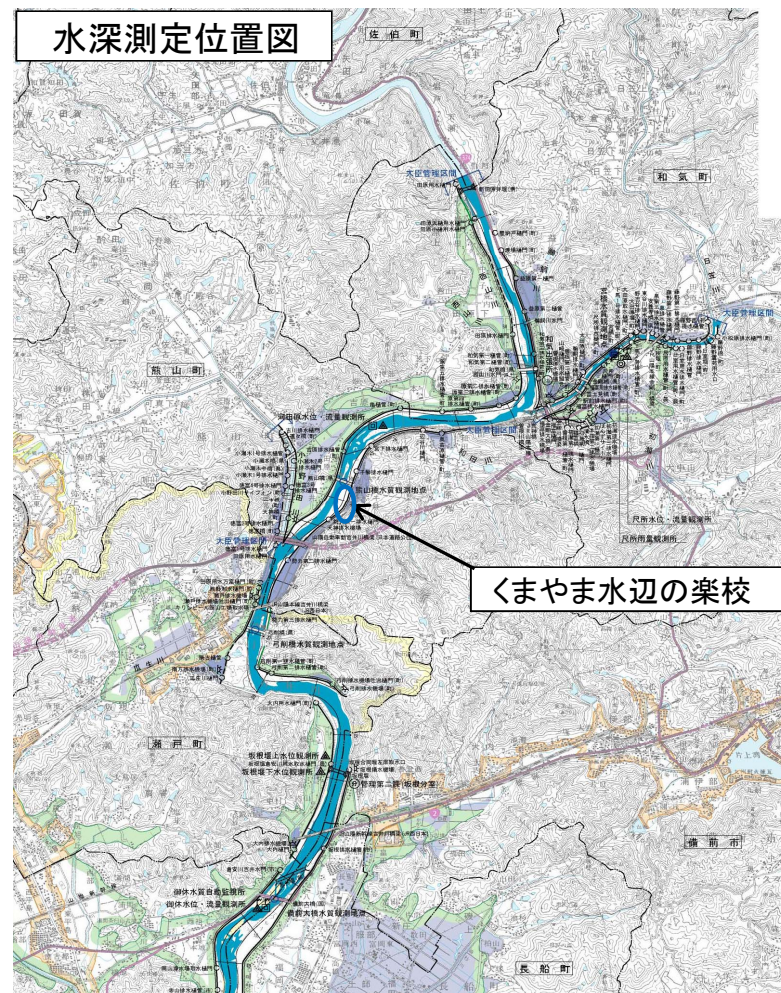
- ・川の状態は常に変わりますので、上記計測した時とはつねに川底の状態は変わっていきます。
- ・水面の上からでは、川底の状態はわかりません。水深も変化します。
川に入る時にはライフジャケットなどを着用しましょう。
- ・同じ河原の周辺でも場所により川底の状態が「なだらか」であったり、「急に深く」なっていたり、流れの速さが違っていたりと様々に変化しています。
- ・川の中を歩くときは、すり足でゆっくり足を出し、川底のようすを足で探りながら歩きましょう。

【吉井川・水深等測定記録（くまやま水辺の楽校）】



点検結果表（平成27年7月7日※降雨のため流速が少し早い）

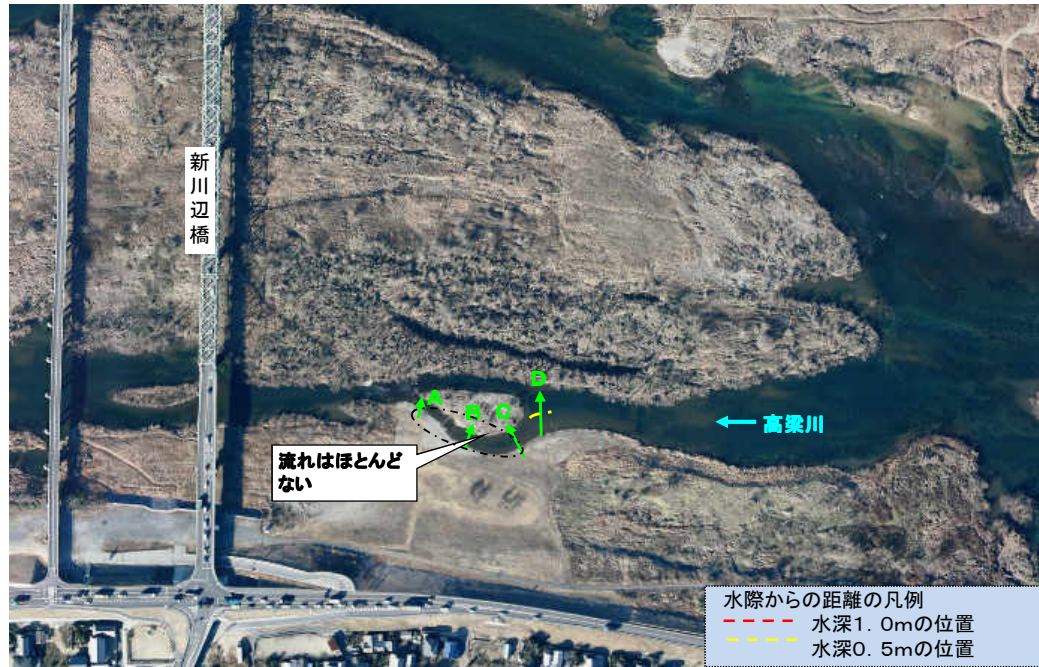
区分	水際からの距離 (m)		最深部深さ (m)	流れの速さ (速い・ゆるやか・ほとんどない)		川底の状態 (なだらか・中間・急に深くなる)
	水深0.5m	水深1.0m		水深0.5m	水深1.0m	
A	2.5		0.8	ゆるやか		なだらか
B	3.4		0.8	ゆるやか		なだらか
C	2.6		0.8	速い		なだらか
D	2.7		0.6	ゆるやか		なだらか
E	2.6		0.6	ゆるやか		なだらか



水辺利用にあたっての注意事項

- ・川の状態は常に変化しますので、上記計測した時とはつねに川底の状態は変わっていきます。
- ・水面の上からでは、川底の状態はわかりません。水深も変化します。
川に入る時にはライフジャケットなどを着用しましょう。
- ・同じ河原の周辺でも場所により川底の状態が「なだらか」であったり、「急に深く」なっていたり、流れの速さが違っていたりと様々に変化しています。
- ・川の中を歩くときは、すり足でゆっくり足を出し、川底のようすを足で探りながら歩きましょう。

【高梁川・水深等測定記録（きよね水辺の楽校）】



点検結果表（平成27年7月8日）

区分	水際からの距離 (m)		最深部深さ (m)	流れの速さ (速い・ゆるやか・ほとんどない)		川底の状態 (なだらか、中間、急に深くなる)
	水深0.5m	水深1.0m		水深0.5m	水深1.0m	
A			計測不能	ゆるやか	ゆるやか	なだらか (玉石砂利)
B			0.4	ゆるやか	ゆるやか	なだらか (玉石砂利)
C	5.4		0.6	ゆるやか	ゆるやか	なだらか (玉石砂利)
D	8.5		0.8	ゆるやか	速い	なだらか (玉石砂利)



水辺利用にあたっての注意事項

- ・川の状態は常に変わりますので、上記計測した時とはつねに川底の状態は変わっていきます。
- ・水面の上からでは、川底の状態はわかりません。水深も変化します。
川に入る時にはライフジャケットなどを着用しましょう。
- ・同じ河原の周辺でも場所により川底の状態が「なだらか」であったり、「急に深く」なっていたり、流れの速さが違っていたり様々に変化しています。
- ・川の中を歩くときは、すり足でゆっくり足を出し、川底のようすを足で探りながら歩きましょう。

【高梁川・水深等測定記録（総社水辺の楽校）】



点検結果表（平成27年7月8日）

区分	水際からの距離 (m)		最深部深さ (m)	流れの速さ (速い・ゆるやか・ほとんどない)		川底の状態 (なだらか・中間・急に深くなる)	
	水深0.5m	水深1.0m		水深0.5m	水深1.0m		
A	3.7	23.7	1	ほとんどない	ほとんどない	なだらか	(泥・砂)
B	5.0	13.8	1.1	ほとんどない	ほとんどない	なだらか	(泥・砂)
C	1.4		0.7	ほとんどない	ほとんどない	なだらか	(泥・砂)
D	0.0		0.7	ほとんどない	ほとんどない	なだらか	(泥・砂)
E	1.0		0.7	速い		なだらか	(泥・砂)

水辺利用にあたっての注意事項

- ・川の状態は常に変化しますので、上記計測した時とはつねに川底の状態は変わっていきます。
- ・水面の上からでは、川底の状態はわかりません。水深も変化します。
- ・川に入る時にはライフジャケットなどを着用しましょう。
- ・同じ河原の周辺でも場所により川底の状態が「なだらか」であったり、「急に深く」なっていたり、流れの速さが違っていたりと様々に変化しています。
- ・川の中を歩くときは、すり足でゆっくり足を出し、川底のようすを足で探りながら歩きましょう。